

— 日韓伝統芸能
交流舞台 —

바람꽃춤 이야기

パラムコツ
舞物語



朝鮮通信使



一部

朝鮮通信使

二部

タスルム (韓国音楽)

キョバンクツコリ (韓国舞踊)

太平舞 (韓国舞踊)

パンクツ (韓国サムルノリ)

【日時】— 2019年

11月29日 金

開場18時30分 開演19時

【会場】— 曳舟文化センター

【チケット】

— 前売券 ¥4,500円 当日券 ¥5,000円

割引券 ¥3,000円 (18歳以下要身分証明書)

※日本の着物かチマチョゴリ着用のお客様にプレゼントを進呈。

先着50名様。

※割引券は、当日精算になります。事前にお申し込み下さい。

【韓国伝統舞踊】—金春江
— 崑崙(クワン) 音楽グループ—
【コムンゴ】—전우석(ジョン・ウソク)
【ピリ】—박계진(パク・ゲジョン)
【ヘグム】—김용하(キム・ヨンハ)

【アジェン】—박제현(パク・ジェホン)
【チャング】—배정찬(ベ・ジョンチャン)
【打楽器】—최덕렬(チェ・ドンヨル)
—안대미, 너름새(アンデミノルムセ) サムルノリグループ—
【ケンガリ】—康明洙(チャング) —李葉子
【チン】—河明樹(アク) —石坂亥士

—日本舞踊 S.A.P.C.—
山中直美 / 西野晴美 / 長島理絵
【小鼓】—今井尋也
【語り】—金順愛
特別ゲスト
【韓国伝統舞踊】—石香金順子

後援
・駐日韓国大使館 韓国文化院 ・すみゆめ
・NPO法人 ネットワーク企画
・朝鮮通信使緑地連絡協議会
・韓国国家指定無形文化財第92号
・太平洋保存会 日本東京支部



朝鮮通信使

朝露、鮮やかに匂い立つ花のように
着飾った男たちが街道を通り過ぎる…

彼らは信じた。

使者として、異国の人々に迎えられんことを。

今、思い起こす——海が呼んでいた

見送った港の星灯り

揺さぶる浪と空の舞い

引き寄せられる舳先と岸

ああ、鳥影が微笑んでいる…「列島は我らの舞台」

明治大学政治経済学部 / 教養デザイン研究科
丸川 盧哲史



◆「パラムコツ舞物語」〜朝鮮通信使〜
日韓伝統芸能交流舞台公演を開催するにあたり、「パラム(風)+コツ(花)舞物語」と名付け強く優しく、豊かに生きる人間模様の総称と致しました。日韓の平和外交の象徴である朝鮮通信使は200年続きました。又、葛飾北斎「東海道五十三次十四原」は富士山を眺める朝鮮通信使を生き生きと映し出しています。朝鮮通信使の足跡を辿り映像、音楽、舞で時空を越えた親善花舞台をお届け致します。

Ryu企画 金春江

スタッフ

【演出】—李哉尙(イ・ジェサン)—韓国
【構成】—金春江 【舞台監督】—常盤数行
【音楽監督】—今井尋也、キム・ヨンハ
【音響照明】—office WIZ
【写真】—齊藤文護 【企画】—Ryu企画

制作

—宮本研 / 高橋省二

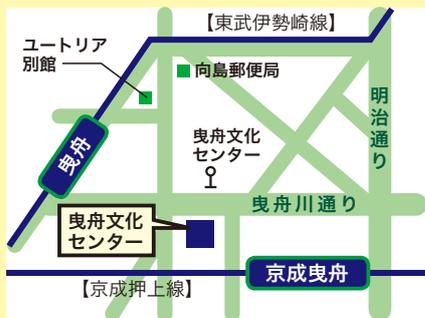
【スーパバイザー】—今井尋也

予約・お問合せ

電話 080-5695-1999 (金)
Eメール info@chungang.asia

オンライン予約(カルテット)

https://www.quartet-online.net/
ticket/paramko



【会場アクセス】
・京成電鉄 押上線「京成曳舟駅」下車 徒歩1分
・東武スカイツリーライン / 東武亀戸線「曳舟駅」下車 徒歩4分
・都バス 墨田区曳舟文化センター前(錦40) 下車 すぐ前
・区内循環バス 北西部ルート4「曳舟文化センター」 下車 徒歩1分
・駐車場はございません。ご了承ください。